

VLSC ソフトウェア アシュアランスガイド

2018 12 月

特典について理解.....	1
ソフトウェア アシュアランス マネージャーを設定する	2
VLSC を使用した特典の申請.....	3
VLSC での ヘルプの取得	12

ソフトウェア アシュアランスへようこそ

ボリュームライセンスのソフトウェアアシュアランスでは、ボリュームライセンスの購入をデプロイ、管理、最大限に活用できるように、各種ツールやリソースが提供されています。このプログラムには、Microsoft の技術やサービスだけでなく、製品バージョンの管理、技術およびエンドユーザートレーニング、デプロイメントプランおよびサポートが含まれます。

本書は、ソフトウェアアシュアランスの特典の有効化、ダウンロード、実装手順の管理方法を説明します。

手順 1:特典について理解

ソフトウェアアシュアランスの理解

ソフトウェアアシュアランスでは、サポート、デプロイメント、計画サービス、トレーニング、ソフトウェアリリースの更新、ユニークな技術が提供されます。本ガイドは、基本的な情報が提供されています。各特典に関する詳しい情報は[ソフトウェアアシュアランスのサイト](#)を参照してください。

Volume Licensing Service Center (VLSC) を使用した特典の確認

ソフトウェアシュアランスの特典は、（エンタープライズ契約やオープンバリュー契約など）ボリュームライセンス契約や、ソフトウェアシュアランスで所有するライセンスの数により異なります。ソフトウェアシュアランスの特典を確認するには、[Volume Licensing Service Center](#)(VLSC)を使用します。このアプリケーションを使用するにはご登録が必要です。（詳細は [手順 3:VLSC を使用した特典の申請](#) を参照してください）

Microsoft Products and Services Agreement (MPSA) をお持ちですか？ MPSA では、Microsoft Business Center を使用してソフトウェアシュアランスの特典が管理されます。MPSA 経由でソフトウェアシュアランスの特典へのアクセスおよび利用に関する詳細は、[Microsoft Business Center](#) にサインインしてください。

手順 2:ソフトウェア アシュアランス マネージャーを設定する

ソフトウェアシュアランスの特典をご利用になるには、VLSC を使用してソフトウェアシュアランスマネージャーとして、個人を 1 名以上指定する必要があります。マネージャーのパーミッションをすでにお持ちの場合には、[手順 3:VLSC を使用した特典の申請](#)に進んでください。

マネージャーのパーミッションがない場合には、まず、VLSC を使用できるように[登録して](#)ソフトウェアシュアランスのマネージャーパーミッションをリクエストしてください。上記のリクエストが VLSC を通じて貴社の VLSC 管理者に転送されます。完全な説明は [トレーニングビデオ](#) を参照してください。

ソフトウェアシュアランスマネージャーの選択に関するヒント

貴社の規模やご利用可能な特典範囲を考慮して、組織のソフトウェアシュアランスの特典を管理するスタッフを 1 名にするか複数名にするかを検討してください。複数の組織で複数の特典を利用する大規模な企業の場合は、特典の管理を分散するほうが効率が高くなる可能性があります。反対に、中規模の組織の場合は、スタッフ 1 人または部署を 1 つ割り当てて特典管理を集約したほうが、効率的になる可能性があります。ソフトウェアシュアランスのマネージャーとして一般的に推奨されているのは以下のとおりです。

IT マネージャー

- 新製品およびユニークなライセンスの権利（例：製品の最新バージョン、ステップアップ ライセンス、Windows to Go の使用权）
- デプロイメントリソースおよびツール（例：計画サービス、Microsoft Desktop Optimization Pack、ライセンスモビリティ）
- IT スタッフおよびエンドユーザー向けのトレーニング（例：トレーニング受講券）
- サポート（例：24 x 7 問題解決サポート）

スタッフ育成/トレーニングマネージャー/HR マネージャー/IT マネージャー

- 自宅使用プログラム

ソフトウェアシュアランスマネージャーの登録

まず、VLSC に登録してサインインします。登録、サインイン後には、適切なパーミッションを組織の VLSC 管理者に割り当ててもらいようにしてください。VLSC 管理者は、個人が提出したパーミッションリクエストを承認するか、個人にパーミッションを割り当てるかして、パーミッションを授与してください。[VLSC トレーニングリソース](#) ページに移動して、「パーミッションの管理」デモを確認するか、詳しい説明については、VLSC ユーザーガイドをダウンロードしてください。

登録方法

Microsoft アカウントで VLSC にサインインして、Microsoft アカウントに有効なビジネスメールアドレスを関連付ける必要があります。Microsoft アカウントをお持ちでない場合は、[アカウントを登録してください](#)。

[Microsoft アカウント](#)を取得してから、[VLSC](#) に移動します。

1. [サインイン]をクリックして、Microsoft アカウントとパスワードを入力します。
2. 初めてサインインした場合には、Microsoft アカウントと、有効な勤務先メールアドレスを関連付ける必要があります。有効な勤務先メールアドレスを使用して登録するように求められます。このアドレスは、オープンライセンスの注文またはボリュームライセンス契約で指定したメールアドレスと一致する必要があります。
3. 登録情報の確認を促すメールが送信されます。
4. 勤務先メールアドレスは、Microsoft アカウントと異なるものでも構いません。
5. 確認メールがブロックされず受信されるように迷惑メールフィルターを確認してください。
6. メールアドレスを確認してパスワードを作成し、パスワードリセットのオプションを選択します。次に、フィールドに画像の文字を入力して、登録情報の確認を行います。登録の完了まで最大 24 時間かかる可能性があります。

手順 3:VLSC を使用した特典の申請

各特典の申請については以下の手順に従います。Windows ソフトウェアの最新版をダウンロードしたり、24/7 問題解決サポートを受けたり、従業員に Office トレーニングを提供するには、VLSC から特典を申請する必要があります。

サインイン後は、ホームページの上部にある[ソフトウェアシュアランス]タブを選択します。利用可能な特典に関する完全一覧が表示されます。ソフトウェアシュアランスの特定に関する概要は [ソフトウェアシュアランスのサイト](#) を参照してください。各特典ごとに、手順が異なる点に注意してください。

新製品およびユニークなエンタイトルメント

新バージョンの権利

この特典では、利用可能になった時点で新しいソフトウェアのバージョンが提供され、ソフトウェアを細心の状態に保ち、最新の技術から得られる生産性を最大限に活かすことができます。

1. [VLSC](#) にサインインします。
2. [ダウンロードとキー]を選択します。
3. 任意の製品リンクを選択して、[ダウンロード]をクリックすると、ダウンロードプロセスが開始されます。
4. [ダウンロード方法]、[言語]、[オペレーティングシステムのタイプ]をドロップダウンボックスから選択します。
5. [続行] をクリックします。

計画サービス

計画サービスをご利用いただくと、資格のあるパートナーまたは Microsoft サービスから、体系化されたコンサルティングサービスをオンサイトで受けることができ、オンプレミス、クラウドに拘らず、デプロイメントのプランニングに役立たせることができます。これらの体系化されたエンゲージメントサービスにより、最新の Microsoft 技術のデプロイメントをプランニングしやすくなります。これらのサービスは、多数の製品およびサービスでご利用いただけます。

1. [VLSC](#) にサインインします。
2. トップメニューから[ソフトウェアシュアランス]を選択します。
3. [計画サービス]を選択します。これにより、[ソフトウェア アシュアランス特典の管理] ページに移動します。
4. 計画サービスを管理するライセンス ID を選択します。これにより、[特典概要] ページに移動します。
5. [計画サービス]を選択します。
6. 利用券タイプとサービスレベル（契約の長さ（日数））を選択します。
7. 名前とメールアドレス、特別な指示内容を入力して、組織内のプロジェクトマネージャーに計画サービス利用券を割り当てます。
8. [利用券の割り当ての確定]を選択します。

9. 利用券が作成された後に、[利用券の割り当て] を選択します。これにより、[特典の詳細] ページに移動し、利用券の状況や有効期限などの利用券の情報を確認します。プロジェクトマネージャーに、特典に関する情報の電子メール メッセージが送信されます。このメッセージには、計画契約の予定調整ができるように Microsoft Partner または Microsoft コンサルティング サービスのリストへのリンクも含まれているので、プロジェクトマネージャーは計画サービスのエンゲージメントをスケジューリングすることができます。

コンサルティングパートナーがエンゲージメントを確定すると、計画サービスの利用券が VLSC で「予約済み」として表示されます。エンゲージメントが終了すると、Microsoft と直接提携するコンサルティングパートナーは、計画サービス利用券を換金して、支払いを受け取ることができます。

ヒント:未使用のトレーニング受講券を 3 対 1 の割合で引き換えることで、計画サービスのエンゲージメントの日数を増やすこともできます。

未使用のトレーニング受講券を計画サービスの日数に変換

以下の手順で、未使用のトレーニング受講券の日数を計画サービスのエンゲージメントに変換することができます。

トレーニング受講券の有効化

1. [VLSC](#) にサインインします。
2. トップメニューから[ソフトウェアアシュアランス]を選択します。
3. [トレーニング受講券]を選択します。これにより、[ソフトウェア アシュアランス特典の管理] ページに移動します。
4. 有効化するために選択した SA トレーニング受講券の特典の下の[ライセンス ID]をクリックして、「特典の有効化」ペインを表示します。これにより、[ソフトウェア アシュアランス特典の管理] ページに移動します。
5. 特典を有効化するには、SA トレーニング受講券の特典名をクリックして、次に表示される画面の指示に従います。

VLSC では、トレーニング受講券の利用可能な日数が表示され、トレーニング受講券の日数（特典のステータス）は「有効」であることが確認できます。

トレーニングの日数を計画サービスの日数に変換

1. トレーニング受講券の特典詳細ページでは、[トレーニング日数の変換]を選択します。
2. VLSC では、変換するトレーニング日数を選択して、変換アクションを確定するように促されます。
3. トレーニング日数が変換された後には、VLSC を使用して計画サービスの日数を貴社内プロジェクトマネージャーに割り当ててください。

4. 上記の説明どおりに計画サービスの日数を割り当てます。

ソフトウェアシュアランスによるライセンスモビリティ

ソフトウェアシュアランスによるライセンスモビリティでは、有効なソフトウェアシュアランスをオンプレミスまたはクラウドで使用することで、追加でライセンスを購入する必要なく、特定のサーバーアプリケーションをデプロイすることができます。この特典の使用に関する情報は、[ソフトウェアシュアランスによるライセンスモビリティ](#)を参照してください。

Microsoft Desktop Optimization Pack (MDOP)

MDOP では、アプリケーションの仮想化、アセット管理、ポリシー制御、デバイス診断やリカバリーツールなど革新的な技術が提供されます。

1. [VLSC](#) にサインインします。
2. [ダウンロードとキー]を選択します。
3. 全製品一覧の [Windows] のチェックボックスを選択します。
4. 任意の MDOP 製品リンクを選択して、[ダウンロード]をクリックすると、ダウンロードプロセスが開始されます。
5. [ダウンロード方法]、[言語]、[オペレーティングシステムのタイプ]をドロップダウンボックスから選択します。[続行] をクリックします。

トレーニング受講券

トレーニング受講券をご利用いただくと、IT プロフェッショナルおよび開発者向けに詳細にわたる技術トレーニングを受けることができます。受講券を管理するには、ソフトウェアシュアランスの特典管理者でなければなりません。トレーニングの特典に関する情報は [ソフトウェアシュアランスのウェブサイト](#) を参照してください。受講券の有効化、作成、割り当て、予約、引き換えの方法に関する [ビデオ](#) を視聴していただくことも可能です。

トレーニング受講券の有効化

1. [VLSC](#) にサインインします。
2. トップメニューから[ソフトウェアシュアランス]を選択します。
3. [トレーニング受講券]を選択します。これにより、[ソフトウェアシュアランス特典の管理] ページに移動します。
4. 有効化するために選択した SA トレーニング受講券の特典の下の[ライセンス ID]をクリックして、

「特典の有効化」ペインを表示します。これにより、[ソフトウェア アシユアランス特典の管理] ページに移動します。

5. 特典を有効化するには、SA トレーニング受講券の特典名をクリックして、次に表示される画面の指示に従います。

受講券の詳細を作成、割り当て、トレーニングパートナーに送信していただくと、それ以上お客様のする作業はありません。この後は、トレーニングパートナーが責任を持って Microsoft と直接やり取りをして、受講券の予約および引き換えを行い支払を受け取ります。

クラスルームトレーニングの検索

1. ソフトウェアアシユアランスの資格があるトレーニング受講券対象のコースの現在の一覧を表示するには、ソフトウェアアシユアランスおよびボリュームライセンスの [製品カタログ](#) に移動します。
2. [プログラムタイプ] で [SA] を選択します。
3. [トレーニングタイプ] で [クラスルーム] を選択します。
4. [クラスロケーター](#) を使用して、Microsoft 学習パートナーのトレーニングサイトを検索してください。

未使用のトレーニング受講券を計画サービスの日数に変換

未使用のトレーニング受講券の日数を計画サービスのエンゲージメントに簡単に変換することができます。方法については、本書の [計画サービスセクション](#) を参照してください。

トレーニング受講券に関して知っておくべき情報

資格のあるライセンス: [Microsoft 製品条件](#) では、ソフトウェアアシユアランスの特定資格とプログラムのルールが記載されています。現在のソフトウェアアシユアランスの特典に関して最も適切な説明は、VLSC で確認いただけます。

キャンセル: 従業員がトレーニング受講券を予約して、予定のコースに出席できなくなった場合には、学習パートナーに連絡いただきキャンセルをする必要があります。学習パートナーの現地のキャンセルポリシーが適用され、学習パートナーがキャンセル料を課金する場合があります。キャンセルの後には、トレーニング受講券は「割り当て済み」のステータスに戻ります。特典管理者は、「予約済み」状態のトレーニング受講券を無効にすることはできません。

無効化: トレーニング受講券が「割り当て済み」の状態の場合は、貴社の特典管理者がトレーニング日数を再割り当てできるように、無効にすることができます。特典管理者は、別の人に割り当てることができます。

有効期限: トレーニング受講券は、作成して割り当て後、180 日間有効です。トレーニングは、受講券の有効期限が切れるまでに完了するようにしてください。組織のライセンス契約の期限がきた場合には、未割り当てのトレーニング日数は失効します。

特典日数とコースの日数: 特典管理者がコースの長さ以上のトレーニング受講券を作成した場合、学習パートナーに受講券が渡された後、あまりの日数は自動的に貴社のアカウントに戻されます。学習パートナーが予約していない場合には、特典管理者は受講券を無

効にして、希望のコースで必要とされる正確な日数を指定して受講券を作成しなおすこともできます。トレーニング受講券で全受講日数に対応できない場合には、従業員は差分を学習パートナーに支払う必要があります。

従業員の責務:従業員は、トレーニング受講券の情報が含まれる確認メールを受け取ります(例：長さ、受講券番号、有効期限)。詳しい情報は [ソフトウェアシュアランスのトレーニング受講券](#)を参照してください。

自宅使用プログラム (HUP)

自宅使用プログラムを利用すると、社員が最新バージョンの Microsoft Office を低コストでダウンロードして取得し、自宅のコンピュータで使用できます。HUP 特典に関する情報は [自宅使用プログラムの概要](#) のプレゼンテーションを参照してください。

1. [VLSC](#) にサインインします。
2. トップメニューから[ソフトウェアシュアランス]を選択します。
3. [自宅使用プログラム]を選択します。これにより、[ソフトウェア アシュアランス特典の管理] ページに移動します。
4. 自宅使用プログラムを管理する[ライセンス ID]を選択します。これにより、[特典概要] ページに移動します。
5. [自宅使用プログラム]を選択します。
6. [HUP 特典の連絡先]を入力します。特典の連絡先は、HUP に関して Microsoft とのやり取りを主に
行う人のことです。VLSC アカウントのある人であれば、SA 特典管理者でも他の方でも構いません。
7. 貴社の該当するドメインを入力してください。これは、この特典を使用する従業員の認証に使用します。パブリックのメールアドレス (outlook.com や gmail.com など)は使用しないでください。従業員の認証およびプログラムコードに関する以下の情報を参照してください。
8. [特典の有効化]を選択します。
9. 特典を有効化した後には、特典の詳細ページに 10 桁の英数字のプログラムコードが表示されます。これは、従業員の資格の認証に、自動的に使用されるわけではありません。以下の情報を慎重に読み進めて、プログラムコードを使用するかどうかを判断してください。

HUP 従業員認証およびプログラムコード:

デフォルトでは、従業員はプログラムコードを入力してご自身の資格情報を認証する必要はありません。従業員から IT 部門にエスカレーションされる案件が減るように、メールアドレスだけで確認を希望する組織が多くなっています。SA 特典管理者や HUP 特典の連絡先からメールリクエストを受け取ってから 24 時間以内に、プログラムコードの要件を復活させることができます。契約番号とプログラムコードを含めて、[VLSC サポート](#) まで依頼を送信してください。注記:

- 承認済みのドメインを利用するユーザーすべてに HUP 特典を提供していない組織に所属している場合（例：学校の部門で生徒も同じドメインを使用している場合など）、認証にプログラムコードを使用することを推奨しています。
- 有効な HUP 特定が含まれる複数の契約に対して同じドメインがリストされている組織では、従業員はプログラムコードを入力して、HUP ライセンスを取得した契約がどれかを指定する必要があります。

ヒント:従業員に情報を共有するには、[HUP マーケティングポータル](#)に移動して、事前作成されたメールテンプレート、バナー広告、他のダウンロード可能なマーケティング資料を HUP から使用してください。

VLSC での HUP 使用状況レポートの作成手順

1. [VLSC](#) にサインインします。
2. トップメニューから[ソフトウェアシュアランス]を選択します。
3. [自宅使用プログラム]を選択します。これにより、[ソフトウェア アシュアランス特典の管理] ページに移動します。
4. 自宅利用を管理する[ライセンス ID]を選択します。これにより、[特典概要] ページに移動します。
5. [有効化された特典]の下から、[特典レポートサマリー]を選択します。これにより、[特典概要レポート] ページに移動します。
6. [自宅使用プログラム]を選択します。
7. レポートのパラメーターを入力して **OK** を選択します。

24x7 問題解決サポート

問題解決サポートでは、ビジネスにとって極めて重要な問題には 24 時間対応の電話サポート、重要度の低めの問題に関しては営業時間内の電話サポートを提供しています。重要度が低い問題には、無制限のメールサポートをご利用いただけます。

電話インシデントアワード

Web または電話でサポートリクエストを出して、サポート部門から折り返しの電話を受けることもできます。サポートインシデントの提出時に電話を選択した場合には、ソフトウェアシュアランスの合計電話インシデントアワードのエンタイトルメント合計数から電話サポートインシデント 1 回分がマイナスされます。

無制限のメールサポート

無制限のメールサポートサーバー製品では、メールサポートをご利用いただけます。ただし、サーバー製品には、ソフトウェアや関連の CALS を対象とするソフトウェアシュアランスが必要です。ソフトウェアシュアランスの対象範囲については、お持ちの契約の無制限オンラインサポート依頼（重要度が低い案件のサポート）の項に記載されています。ウェブ経由でサポート依頼を提出して、サポートインシデ

ントの提出のお問い合わせ方法はメールを選択してください。メールサポート依頼への対応は、サポートチームの営業時間内に行われ、貴社の時間帯と異なる可能性があります。

注記:ソフトウェアシュアランスマネージャーは、VLSCを使用して、サポート依頼を開始する軽減のある承認済みの人材一覧を設定して、適切なソフトウェアシュアランス ID(SAID)を割り当てる必要があります。

VLSC による 24x7 問題解決サポートの設定手順

1. [VLSC](#) にサインインします。
2. トップメニューから[ソフトウェアシュアランス]を選択します。
3. [24x7 問題解決サポート]を選択します。これにより、[ソフトウェア アシュアランス特典の管理] ページに移動します。
4. 24x7 問題解決サポートを管理する[ライセンス ID]を選択します。これにより、[特典概要] ページに移動します。
5. [24x7 問題解決サポート]を選択します。
6. 次の画面で、契約条件を確認し、名前を入力して[承諾]を選択します。
7. サポートインシデント提出を承認されているユーザーの一覧を設定します。
8. SA アクセス ID (24x7 問題解決サポートの特典詳細ページに記載) を検索して、IT スタッフにこの情報を渡します。

Microsoft サポートでの 24x7 サポートインシデントの開始手順

1. Microsoft ソフトウェアシュアランスサポート [ページ](#) に移動して、[要求を送信します]をクリックします。
2. サポートに必要な製品および問題を選択します。
3. [インシデントの作成] - [支払オプションの選択]ページで、[ソフトウェアシュアランス契約の使用]を選択します。
4. VLSC へのアクセスに利用する[ソフトウェアシュアランスアクセス ID]と[メールアドレス]を入力して、[続行]をクリックします。
5. インシデントの詳細と連絡先情報を入力して、重要度の低いサーバーの問題に関してメールサポートを受けるか、全製品対象の重要度の高いサポートに関して電話サポートを受けるかを選択します。

ヒント:Microsoft Services プレミアサポートをご利用のお客様の場合は、割り当てられたソフトウェアシュアランス電話サポートインシデントをプレミアの問題解決サービスに変換して、すでにご存知で信頼をおくエキスパートからのサポートを延長することができます。

24x7 電話サポートインシデントからプレミアサポートへの変換手順

1. [VLSC](#) にサインインします。
2. トップメニューから[ソフトウェアシュアランス]を選択します。
3. [24x7 問題解決サポート]を選択します。これにより、[ソフトウェア アシュアランス特典の管理] ページに移動します。
4. 24x7 問題解決サポートを管理する[ライセンス ID]を選択します。これにより、[特典概要] ページに移動します。
5. [24x7 問題解決サポート]を選択します。これにより、[特典詳細] ページに移動します。
6. [プレミアに移行するソフトウェア アシュアランス インシデント の予約]を選択します。[プレミアに移行するソフトウェア アシュアランス インシデント の予約] ページに移動します。希望の変換形態により、以下のオプションの中から1つ選択してください。
 - a. ソフトウェア アシュアランスの電話によるサポート インシデントすべてをソフトウェアシュアランスで使用可能のままにする。年中無休 (24 x 7) の技術サポート インシデントの移行または予約を希望しない場合は ss、このデフォルトのオプションを選択してください。
 - b. 現在および今後予定されているソフトウェア アシュアランスの電話によるサポート インシデントすべてをプレミア契約に移行する。24x7 問題解決サポートすべてを予約するか、すべてを変換するにはこのオプションを選択してください。
 - c. 特定のプレミア契約用にインシデントを予約する。プレミアサポート契約が複数ある場合にはこのオプションを選択します (たとえば、別のグループや企業の場所に割り当てられているものなど)。このオプションでは、24x7 問題解決サポートを割り当てるか、予約します。
7. これが完了したら、変換プロセスを確定できるように、貴社の **Microsoft** テクニカルアカウントマネージャー(**TAM**) にお問い合わせください。

貴社向けのホットフィックスを作成・提供することが確定された場合には、TAM は貴社と連携して延長ホットフィックスサポートアカウント (EHSA) を設定するか、影響があった製品の既存の EHSA に対象範囲を追加します。

追加特典

ソフトウェアシュアランスは、Windows、Microsoft Office、Exchange、System Center、SQL サーバーなど、幅広い Microsoft ソフトウェアおよびサービスに対応しています。各特典に関する詳しい情報は [Microsoft 製品条件](#)を確認するか、[ソフトウェアシュアランスのウェブサイト](#)を確認してください。

VLSC での ヘルプの取得

VLSC の使用の際にサポートが必要な場合や質問ある場合には、[ヘルプ]メニューを選択して、詳細情報を表示し、FAQ を読んでサポートセンターの問い合わせ先を確認してください。

© 2018 Microsoft Corporation. マイクロソフトは本コンテンツを情報提供のみを目的に提供しています。本書について MICROSOFT は明示的、暗示的な保証を一切しないことにご了承ください。ソフトウェア アシユアランス特典の資格の有無は製品および地域によって異なり、変更される可能性があります。お客様は、ボリュームライセンス契約の契約条件を参照して、マイクロソフトのボリューム ライセンス プログラムにおける自社の権利と義務について十分に理解する必要があります。(出版 1218)